

冷温水発生機等保守業務委託特記仕様書

この業務は委託業務共通仕様書に基づくほか、この特記仕様書により実施するものとする。また、この仕様書は冷温水発生機等保守業務の概要を示すものであり、ここに記載されていない細部の事項については、委託者及び受託者が協議し決めるものとする。

1. 業務の目的

埼玉県立精神医療センターの冷暖房熱源装置を保守し、常に安全で効率的な運転を図ることを目的とする。

2. 業務の対象設備

- (1) 吸収式冷温水発生機（ガス・灯油炊併用型） 2台（本館）
ΣTEC-150DN5C
冷凍能力 528kW(150RT) 暖房能力 442kW
- (2) ガス吸収式冷温水発生機 2台（新館）
ΣTBG-150MN5
冷房能力 528kW 暖房能力 530kW
- (3) パッケージ型空調機 別紙1のとおり
- (4) ガスヒートポンプパッケージ型空調機（GHP） 別紙1のとおり
- (5) コージェネレーション設備
CP25VB3-TNB

3. 業務の内容

業務は冷温水発生機、パッケージ型空調機およびGHPの点検整備とする。その内容は以下のとおり。

(1) 定期点検整備

受託者は次のとおり保守技術員を現場に派遣し、点検整備等を行う。なお、点検日時については記載のある月に行うものとするが、気候等により臨機に変更するものとする。

・冷温水発生機

冷暖房運転前後の点検・整備 5月、10月

冷暖房運転中の点検 8月、2月

（8月と2月にばいじん、NO_xの測定を行う。）

要請があった場合には、燃料系統の切替を行う。

・パッケージ型空調機点検整備 10月

・GHPの点検整備

・コージェネレーション設備の点検整備

・改正フロン法により求められる、機器の簡易点検・定期点検を行う。

(2) 定期保守以外の措置

受託者は委託者より修理依頼を受けたときには速やかに保守技術員を現場に派遣し、監督員と協議の上点検及び修理を行うものとする。

4. 点検整備の内容

別紙2「保守点検整備表」の項目に従って業務を実施するものとし、点検整備項目に記載がなくとも当然必要と認められる点検整備は本業務に含まれるものとする。その他については、委託者受託者協議して決める。

5. 実施計画及び報告

受託者は契約期間内の定期保守業務実施計画表を提出し、監督員の承認を得た後に業務を実施するものとする。また、各業務終了後に報告書を委託者に提出するものとする。

6. 臨機の措置

委託者は業務を実施する上で必要と認められる場合、受託者と協議して実施計画書の作業繰り上げ、順延等を求めることができる。

7. 負担区分

- (1) 業務場所において業務履行に使用する電気、水等は委託者の負担とする。
- (2) 業務に必要な機材、消耗品類及び用紙類は受託者の負担とする。
- (3) 本仕様書に基づき点検整備中に部品交換の必要が生じた場合、軽微な部品は受託者の負担とし、その他については委託者受託者協議して決める。